

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立花田小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注 1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注 2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-8081

愛知県豊橋市西羽田町 247 番地

E-mail hanada-e@toyohashi.ed.jp

Website http://www.hanada-e.toyohashi.ed.jp/hanada-e/

幼児児童生徒数 男子 230 名 女子 224 名 合計 454 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「こころ豊かに、未来をたくましく生き抜く花田っ子の育成」をテーマとして、ESD をこころを育てる活動と捉え、ESD の実践を通して共生的態度の育成を目標とした。

具体的には、人権・平和、伝統文化、栽培飼育活動を柱に、①異年齢交流に係わる活動、②動植物の飼育・栽培に関わる活動、③いのちに関わる学習を行った。

①異年齢交流に関わる活動

○フレンド活動

毎週木曜日の昼休みの時間に行い、上級生が遊ぶ内容を計画し、フレンド班で仲よく遊んだり、清掃を行ったりし異年齢集団での交流を深めた。また、ペア学年の遠足の計画をたて、目的地までの世話や公園でのレクリエーションを上級生と下級生ペアとして行った。

○感謝する会

クラブ活動の講師や交通安全の立ち番など、お世話になった方を招待して感謝する会を実施した

○昔あそびの会

1 年生が地域のおじいさんやおばあさんとお手玉やおはじき、竹馬などの遊びを教えてもらったり、給食を一緒に食べたりして交流をした。

②動植物の飼育・栽培に関わる活動

○栽培活動

それぞれの学年で米や野菜などを年間通して育て、栽培した。さつまいもは地域の方の畑を借り協力して育て、収穫祭には招待をするなど交流を深めた。

5年生は学年園とバケツを使い田植えから収穫まで、稲の育つ様子を学習した。

○飼育活動

3年生は学校で育てているうさぎの世話を毎日交代で行い、いのちの大切さを学び、総合的な学習の授業で発表をした。

③いのちに関わる学習

2年の生活科では「大きくなったね」という単元で、自分の誕生から今までの成長を振り返る授業を行い、4年の総合的な学習では「2分の1成人式」を行い、今までの成長を振り返り、親に感謝し、将来の夢を考えた。

6年の社会科ではユネスコ協会の方を講師に招き、豊橋空襲の時の様子を聞いたり、ワークショップを行ったり、平和教育についての学習をした。

道徳の授業で1年生から6年生までのすべての学年で「いのち」に関わる教材で年間数回の授業を行い、いのちの大切さを学んだ。



① 手つなぎ遠足



② いもの栽培



③ 二分の一成人式

③ 戦争体験のお話

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (異年齢交流 飼育・栽培)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他 (自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

①異年齢交流に係わる活動

学年を超えて活動することで、上級生が下級生のお世話をしたり、下級生が上級生に対して慕う気持ちが芽生えたりした。

②動植物の飼育・栽培に関わる活動

1, 2年生の生活科の授業で地域に住んでいる方の畑を借り、さつまいもの栽培を行った。3年生の総合的な学習の時間に、学校で飼育しているウサギの世話をを行った。また、支援学級の児童が生活単元の授業の中で学校園を使い、季節に応じた野菜の栽培を行った。

③いのちに係わる学習を行った。

6年生が学級活動の時間を使い、戦争体験の話を聞き、学んだことをワークショップで発表した。平和への意識が高まり、いのちを大切にすることについて思いをもつことができた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

生活科や総合的な学習の時間での学習を中心に、横断的に理科や社会科、音楽、国語などの教科とのかかわりも考慮しながら、さまざまな活動を行っている。それらの活動に子どもたちが主体的に取り組めるように計画している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教師はふだんの生活の中でも児童を観察し、児童理解に努めた。また、活動後は、振り返りを行った。さらには、学校評議員を通じた地域の声や、全保護者からの学校アンケート調査をもとに、ESD活動の見直しを図り、地域とともに生き、地域を愛せる子の育成に向けて活動内容を改善していく。成果としては、学習のまとめを行ったり、発表会を開いたりする中で、進んで活動する様子が見られた。しかし、自主的に活動するまでには至っていない。今後さらに地域との連携を深め、魅力のある活動ができるよう環境改善に努めたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ・子どもたちの様々な活動をまとめる。
- ・学習や活動のまとめとして、授業公開や学芸会で発表する。
- ・ホームページや学校だより等で発信する。

児童は学習のまとめを行ったり、発表したりする場面では、自信をもって取り組む様子が見られた。また、ホームページや学校だよりを見た保護者からは学校の様子がよくわかったという意見も頂いた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

4年生では、地域で活躍している豊橋筆の伝統工芸士の方や、福祉施設に訪問して、交流を図った。また、3年生は盲導犬を利用されている方に来校してもらい、普段は接することが少ない目の不自由な人と交流を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

特にないので、今後情報収集をしながら進めていきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)

※チェック事項 2-5 に対応

5年生の福祉の授業では、調べ学習や車いすやアイマスクなどの体験活動を通して、障害のある人について理解を深めた。その中で校区に目を向け、バリアフリーに興味をもち、障害についてもっと知りたいという意欲が高まった。学習後に、校区を住みやすい町にするにはどうしたらよいか考える機会となった。また、耳の不自由な方の話や、豊橋で唯一盲導犬とともに暮らしている方の話を聞き、その方たちの気持ちに寄り添いながら話に耳を傾ける姿が見られた。実際に障害をもつ方や盲導犬と触れ合う活動は子どもの心に響くと改めて感じた。

(3) 平成 30 年度の活動計画 (200～400 字程度)

来年度も継続して「こころを育てる」をテーマに活動を行っていく。具体的には①異年齢集団の交流活動を活発に実践していく。②栽培、飼育活動を計画的に取り組んでいく。③将来、たくましく生きていけるために感謝の気持ちや、世界平和に関心をもっていく。これらを日々の教育活動に生かせるようにしていく。